

研究主題「自分の考えをもち、主体的に学びに向かう生徒の育成」  
～書く・説明する活動を取り入れた授業づくりを通して～

## 吉舎中研究だより vol.1 令和7年8月29日研究部

### 第2回小中一貫教育推進協議会 合同研修会

単元名：「平方根」 対象学年・教科：3年数学 授業者：〇〇教諭

6月17日(火)に小中合同授業研究会として中学3年数学の授業研究を行いました。講師には三次市教育員会学校教育課教育指導係 指導主事 大崎友子様をお招きして、指導講話をいただきました。代表として授業提案をしてくださった〇〇先生、ありがとうございました。今回の授業について参考になる点、今後に向けての課題をご紹介します。

#### 参考になる点

##### ①主体的・対話的に学ぶ姿

学ぶ姿は小学校からの積み重ね。子どもの中でいつの間にかグループができ、ゆるやかな協働学習が生まれている。

##### ②子どもの姿から考える

深い教材分析と子どもの思考の予想により、効果的な手立てがたくさん準備されていた。

#### 今後に向けて

##### ★個人思考と対話の時間配分

十分に考えるための時間と手立てはあったが、話し合う時間が少なかった。手立てのツール別に考えさせるのもよかったのではないかな。

##### ★生徒が何をすればよいのか分かるように提示

導入の内容を整理し、何をすればよいのか分かるように提示する。選択肢や規律を意図的に設定しておく。また、解いている途中の段階でロイロでまとめ、意図的指名をして確認する方法もある。



#### 研究のキーワード

対話のための仕組み

吉舎中学校区の授業の質向上を目指して、今回の学びをつなげていきましょう。